

令和4年度 テーマ研究

1 研究テーマ

重度・重複障害児の個々の実態に応じた指導の充実
～ クラス研修を活用した授業実践 ～

2 研究テーマ設定の理由

(1) 最近の特別支援教育の動向から

特別支援学校学習指導要領（平成 29 年告示）が、令和 2 年度から小学部、令和 3 年度から中学部も完全実施となった。特に、育成すべき資質能力の 3 つの柱である「何を学ぶか」、「どのように学ぶか」、「何ができるようになるか」を踏まえ、本校の児童生徒一人一人の学びを追究し、各教科等の内容の取り扱いや自立活動の指導内容等について研究を深める必要がある。

(2) 本校の児童生徒の実態から

本校の教育基調に「人間は、本来よりよく生きたいという願いをもっている存在であり、その願いを常に児童生徒の側に立って、実現の方向に支援する」とある。重度・重複障害児が多く在籍する本校の現状において、児童生徒数も減少する中で、児童生徒一人一人が「よりよく生きること」を実現するために、教師一人一人が考え、実行することが求められる。それらを共有することで学校全体の授業力向上につながると考えられる。

(3) 研究・実践上の成果と課題から

前次研究（平成 30 年度～令和 2 年度）においては、児童生徒数の減少や学習指導要領の移行を踏まえて、教科別の指導（音楽、体育・保健体育）や各教科等を合わせた指導（日常生活の指導、生活単元学習、作業学習）の指導内容の見直しや個別の指導計画の様式の検討などを行い、各教科等を合わせた指導の中で実施している各教科の基本的な考え方や教科内容をまとめることができた。しかし、一方で、重度・重複障害児に教科指導を軸とした目標設定や実際の指導を行うことの難しさ、自立活動を主とした学習の重要性を再度考えることの必要性等が課題として挙げられた。

そこで、今次研究の 1 年目（令和 3 年度）では、より児童生徒の実態に即した指導・支援方法の充実を図ることをねらって、前年度まで行っていた「自立活動反省」を、その他の学習も含めた指導について評価・改善を図る時間に変更し、「拡大クラス研修」として設定した。月に 1 回の「拡大クラス研修」では、一人一人の児童生徒について課題や成果を出し合い、意見交換を行うとともに、指導改善後の様子についても共有することで、指導の積み上げや連続性の確保を図るようにした。指導体制に基づいた少人数グループで話し合いをすることで、一人一人の児童生徒の実態に応じた学習内容や支援方法が工夫でき、授業改善につながったという成果が挙げられたが、個別の指導計画を活用した授業改善の在り方について課題が挙げられた。

今後も、成果と課題を踏まえて、よりよい授業づくりを目指した研究を深めていくことが必要である。

3 研究の目的

- (1) 在籍する児童生徒が重度・重複障害児であり、学習指導要領の内容を踏まえつつ、児童生徒の卒業後の豊かな生活につながる学習活動の充実を図る。
- (2) 児童生徒数が減少する中で、一人一人の授業実践を丁寧に検討することで「個別の指導計画」の充実を図り、個別の指導計画の目標を基にした「P-D-C-A サイクル及び p-d-c-a サイクル」（以下、PDCA サイクル）の機能化を図る。

4 研究内容（3年計画）

1年目	(1) 全体研究 研究テーマや研究内容等に関する話し合い，講話形式の研修を行う。 (2) グループ研究 PDCAサイクルの機能化や「目標－評価」，手立て等に関する研究を行う。
2年目 (今年度)	1年目を踏襲した「クラス研修を活用した授業実践」に関する研究 ※ 授業公開 8月9日(火)
3年目(案)	1，2年目を踏襲した「クラス研修を検証し更なる授業実践の充実を目指す研究」

5 研究計画

(1) テーマ研究（通学生担当と訪問教育学級生担当に分かれる）

	月日	研究の形態	研究の内容
1	4月25日(月)	全体	本年度の研究概要と授業公開について
2	5月23日(月)	グループ	分科会の進め方について
3	6月20日(月)	グループ	授業実践報告について（公开发表プレゼン作成等）
4	7月21日(木)	全体	授業公開全体確認について（公开发表プレゼン完成予定）
5	7月26日(火)	全体	授業公開リハーサル1（全体会，分科会I・II）
6	8月1日(月)	全体	授業公開リハーサル2（全体会，分科会I・II）
※	8月9日(火)	授業公開	
7	9月12日(月)	グループ	授業公開の反省について
8	12月26日(月)	グループ	授業公開反省を受けた授業実践について
9	2月20日(月)	全体	年間反省，次年度の方向性について

(2) クラス研修（グループ…授業を担当する児童生徒別，通…通学生，訪…訪問教育学級生）

	月日	実施形態	研修の内容
1	4月27日(水)	通・訪合同	児童生徒の実態と配慮事項についての共通理解
2	5月18日(水)	グループ	今年度の指導目標，内容，方法について共通理解（個別の指導計画）
3	6月15日(水)	グループ	4～6月の授業について様子と課題の共有，改善策の検討
4	7月13日(水)	通・訪合同	1学期の指導目標，内容，方法について成果と課題の共有，2学期の指導目標，内容，方法について共通理解（個別の指導計画）
5	9月21日(水)	グループ	9月の授業について様子と課題の共有，改善策の検討
6	10月26日(水)	グループ	9～10月の授業について様子と課題の共有，改善策の検討
7	11月16日(水)	グループ	10～11月の授業について様子と課題の共有，改善策の検討
8	12月7日(水)	通・訪合同	2学期の指導目標，内容，方法について成果と課題の共有，3学期の指導目標，内容，方法について共通理解（個別の指導計画）※必要に応じて紙面報告とし，指導方法の実践研修を行うこともある。
9	1月25日(水)	グループ	今年度の指導目標，内容，指導方法について成果と課題の共有，次年度の指導について意見交換（個別の指導計画）
10	2月15日(水)	グループ	1～2月の授業について様子と課題の共有，改善策の検討
11	3月8日(水)	通・訪合同	今年度の指導目標，内容，方法について成果と課題の共有，次年度の指導目標，内容，方法について共通理解（個別の指導計画）